

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 麗澤中学・高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 277 - 8686
千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

E-mail : webmaster@hs.reitaku.jp

Website : http://www.hs.reitaku.jp

児童生徒数：男子 560 名 女子 666 名 合計 1,226 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、中学3年間の総合学習の時間を「自分プロジェクト」と名付け、未来を創造する知恵と逞しさを身に付けるオリジナルプログラムとして展開しております。

1年生では、自分と自然との関係を学ぶため、3つのテーマ（①本校のキャンパス内に生育する約300種類の樹木観察、②奥利根水源の森を訪ねるフィールドワーク、③森と人間社会研究）について学びます。特に「水源の森」フィールドワークでは、自然との出会いの中で、森や人々の共存、共栄について学ぶことがねらいです。また、植物が大きく成長するためには、根っこが大切にされなければなりません。満々と流れる利根川といえども、水源が涸れれば干上がってしまうのです。生徒が源の大きさに気づくことを期待しています。

2年生では、自分と社会、国家との関係を学ぶために、日本文化研究のテーマをかかげて伊勢、奈良、京都を訪ねます。授業で日本の歴史・文化を学び、実際に現地を訪ね、有形無形の文化遺産に手で触れ、目で見て確かめます。神話に始まる日本の歴史・文化・伝統を学ぶとともに、大切な家族といえども国家の守護なしには存続できないのですから、国の源を訪ね、建国の苦労と犠牲に感謝するとともに、社会・国家のしくみや役割について学ぶことをねらいとしています。

3年生では、世界へと視野を広げるため、異文化研究をテーマとしてイギリス研修旅行を実施しております。グローバル時代といわれる現在においては、一国の繁栄や平和だけを願うことは不可能であり、世界の平和、人類の幸福という視点から物事を捉え、広い視野を持つことが重要です。同時に、イギリスの歴史、伝統、文化に触れることにより自国のそれらと比較し、類似点や相違点に気づかせることも課題の一つになっています。

自分プロジェクトでは、自分を取り巻く自然、文化、社会の調査や研究を通して、「よりよく生きる」とはどういうことを深く考えることがねらいです。基本的手法は、①個人テーマの決定、②リサーチ、③プレゼンテーション、④学習履歴ファイルに保存の手順となります。人間は一人では生きていけません。また、自分のためだけに生きることもできません。生命が誕生し健全に育つには、大自然の恵み、先人の苦労の賜物である文化遺産や科学技術、そして家族をはじめ多くの恩人の支えが必要だからです。私たちが今こうして生きていられるのは、先祖からの生命が途切れることなく受け継がれてきたからであります。自分プロジェクトは、生徒がこれらの事実と恩恵に気づき、どうすれば「よりよく生きる」ことができるかを発見することを求めています。つまり、恩を知り、恩を感じ、恩に報いることができる人間になることを目標としております。

ESDとの関連で本校が意識していることは、生徒たちが「私たちの生命や生活は、家族をはじめ社会・国・世界・自然等の様々な恩恵によって支えられている」という事実を知り、感じた上で、その恩に報いたいとの思いから自分を成長させる為の努力を積み重ね、その結果として持続的発展に寄与できる人物になって欲しいということです。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）